

DEVELOPMENT OF A PRACTICAL SYSTEM FOR SIMULATING EARTHQUAKE GROUND MOTIONS PAYING ATTENTION TO VOLCANIC ZONE AND ASPERITY ON A FAULT

張, 龍

<https://doi.org/10.15017/1928631>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：



氏名	ちょう りゅう 張 龍 (ZHANG Long)
論文名	DEVELOPMENT OF A PRACTICAL SYSTEM FOR SIMULATING EARTHQUAKE GROUND MOTIONS PAYING ATTENTION TO VOLCANIC ZONE AND ASPERITY ON A FAULT (火山地帯と断層のアスペリティに着目した地震動における実用的なシミュレーションシステムの開発)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 陳 光斉 副査 九州大学 教授 松田 泰治 副査 九州大学 教授 島岡 隆行

論文審査の結果の要旨

本論文は、サイト影響を反映する拡大係数の同定手法、火山地帯と非火山地帯を区別した地震波伝搬経路のS波減衰パラメータ Q_s の同定手法、アスペリティに着目した断層面上のスリップ分布の推定手法の提案によりSFFM (Stochastic Finite-Fault Modeling)法による地震動の推定精度を高め、実用に資する地震動シミュレーションを開発し、地震工学・防災工学に必要な地震動に関わる情報を高精度で推定可能としたものである。これらの新規性を有する成果は、地震に起因する災害における防災力の向上に資するものであり、地震工学・防災工学の研究に寄与するところが極めて大きい。よって、本論文は博士(工学)の学位論文に値するものと認める。